

経済学部A方式 I 日程・社会学部A方式 I 日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～40
世 界 史	42～60	地 理	62～67
数 学	68～69		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・ 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ 解答はおもて面と裏面の所定の欄に記入すること。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

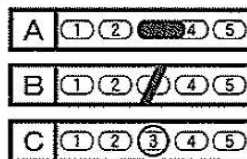
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日 本 史)

〔I〕 下記の問1～問4について答えよ。

問1 次の文章を読み、下記の(1)(2)の問いに答えよ。

9世紀後半になると、地方政治の現場では、これまでの方法で人々から税をとることが難しくなっていた。それは の制度がくずれ、 の実施が困難になっていったからである。政府は令制の再建をめざしたがかなわず、やがて に一定額の税の納入を請け負わせ、そのかわりに一国内の統治をゆだねるように方針を転換した。そこで、現地に赴任する の中の最上席者は、政府に対する徴税請負人の性格を強め、 とよばれるようになった。 はやがて、有力農民の に一定期間を限って田地の耕作を請け負わせ、税を課すようになった。課税の対象となる田地は とよばれる徴税単位に分けられた。 が課せられた税には、田地の広さに応じておもに米で賦課される と、人や田地の広さに応じて特産物・手工業品や労役で賦課される臨時雑役とがあった。

(1) 文中の空欄 ～ にあてはまるものを下記のア～チから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|-------|--------|
| ア 租庸調 | イ 石高制 | ウ 班田収授 |
| エ 戸籍・計帳 | オ 軍事 | カ 村高 |
| キ 名 | ク 寺請 | ケ 口分田 |
| コ 本途物成 | サ 上げ米 | シ 年貢 |
| ス 官物 | セ 兵糧米 | ソ 公事 |
| タ 地租 | チ 氏姓 | |

(2) 文中の空欄 ～ にあてはまるものを下記のア～ツから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| ア 防人 | イ 在庁官人 | ウ 開発領主 | エ 悪党 |
| オ 国司 | カ 郡司 | キ 田堵 | ク 勘解由使 |
| ケ 棟梁 | コ 豪農 | サ 守護 | シ 組頭 |
| ス 御家人 | セ 受領 | ソ 地頭 | タ 百姓代 |
| チ 遙任 | ツ 下司 | | |

問2 次の文章を読み、下記の(1)～(5)の問いに答えよ。

伊豆で挙兵した源頼朝は、 諸国の国衙をおさえ、直接、その地の武士たちの所領を していった。そこで武士たちは競って頼朝と主従関係をむすんだ。

平氏の都落ちのあと、頼朝からの要請を受け、 は寿永二年十月の宣旨を^A発した。その後、 年、 が源義経に頼朝の追討を命じると、頼朝は軍勢を京都におくって、 にせまり、諸国に を任命する権利を、荘園や公領には を任命する権利や1段あたり5升の を徴収する権利を得た。

(1) 文中の空欄 ～ にあてはまるものを下記のア～サから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|--------|-------|---------|------|
| ア 登録 | イ 安堵 | ウ 接收 | エ 地租 |
| オ 本途物成 | カ 上げ米 | キ 年貢 | ク 官物 |
| ケ 兵糧米 | コ 東国 | サ 畿内・西国 | |

日本史

(2) 文中の空欄 , にあてはまるものを下記のア～ツから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-------|--------|--------|
| ア 受領 | イ 在庁官人 | ウ 開発領主 |
| エ 悪党 | オ 国司 | カ 郡司 |
| キ 田堵 | ク 勘解由使 | ケ 棟梁 |
| コ 豪農 | サ 守護 | シ 組頭 |
| ス 御家人 | セ 受領 | ソ 地頭 |
| タ 百姓代 | チ 遙任 | ツ 下司 |

(3) 文中の空欄 にあてはまるものを下記のア～クから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ア 白河法皇 | イ 白河天皇 | ウ 後白河天皇 |
| エ 後白河法皇 | オ 鳥羽上皇 | カ 鳥羽天皇 |
| キ 後鳥羽天皇 | ク 後鳥羽上皇 | |

(4) 文中の空欄 にあてはまるものを下記のア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア 1180 | イ 1183 | ウ 1185 |
| エ 1189 | オ 1192 | |

- (5) 文中の下線部Aの説明として正しいものを下記のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- ア これによって源頼朝は、平氏を徹底的に追い落とすことを認められた。
- イ これによって源頼朝は、右近衛大将という権威ある地位を得ることになった。
- ウ これによって源頼朝は、征夷大將軍という権威ある地位を得ることになった。
- エ これによって源頼朝は、西国支配のための広範な権限を与えられることになった。
- オ これによって源頼朝は、東国支配のための広範な権限を与えられることになった。

問3 次の文章を読み、下記の(1)～(3)の問いに答えよ。

鎌倉時代には、荘園で田地の耕作を任されていた有力農民の中から、
 [1] がとりたてられ、課税対象の田地の管理をまかされるようになった。
 [1] は、荘園領主に対し、田地にかかり、一般には米で納められた
 [a] と、雑物と夫役からなる [b] を負担した。荘園にはこれを
 管理する荘官として [2] などが住み、 [b] のかからない田地
 と、 [a] と [b] が免除された田地を与えられていた。
 [3] がおかれた荘園では、多くの場合 [2] に代わって [3]
 がそこに住むことになった。 [3] も一般の農民から反別の加徴米や
 [b] を取り立てる権利をもっており、しばしば農民たちの生活をおび
 やかした。

みずからの支配権を拡大しようとする武士たちは荘園・公領の領主や、所
 領の近隣の武士とのあいだで [a] の徴収や境界の問題をめぐって紛争
 をおこすことが多かった。承久の乱後には、 [c] 地方にも多くの
 [3] が任命され、 [d] 出身の武士が各地に新たな所領をもつよ
 うになり、現地支配権をめぐる紛争が拡大した。

鎌倉幕府は、早くから [e] を設け、 [あ] を執事として裁判事
 務にあたらせ、こうした状況に対応する、公正な裁判制度の確立に努力した。

[3] の支配権拡大に対し、荘園・公領の領主たちもまた幕府に訴え
 て、 [3] の [a] 未納などの不正行為を抑えようとした。しかし、
 [3] の行動を阻止することはできず、荘園・公領の領主たちの中には、
 紛争解決のために、現地の土地の相当部分を [3] に分けあたえる
 [f] を行うこともあった。

- (1) 文中の空欄 ～ にあてはまるものを下記のア～テから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 本途物成	イ 上げ米	ウ 年貢	エ 官物
オ 兵糧米	カ 公事	キ 地租	ク 伝馬役
ケ 国役	コ 評定所	サ 評定衆	シ 問注所
ス 引付衆	セ 地下請	ソ 守護請	タ 下地中分
チ 地頭請所	ツ 東国	テ 畿内・西国	

- (2) 文中の空欄 ～ にあてはまるものを下記のア～ツから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 国司	イ 在庁官人	ウ 開発領主	エ 悪党
オ 名主	カ 郡司	キ 田堵	ク 勘解由使
ケ 棟梁	コ 豪農	サ 守護	シ 組頭
ス 追補使	セ 受領	ソ 地頭	タ 百姓代
チ 遙任	ツ 下司		

- (3) 文中の空欄 にあてはまる人物を下記ア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 和田義盛	イ 三善康信	ウ 大江広元
エ 藤原頼経	オ 三浦泰村	

問4 次の文章はそれぞれ三つの史料から抜粋したものである。これらについて
下記の(1)~(4)の問いに答えよ。

A 此比都ニハヤル物。夜討、強盜、謀論旨。召人、早馬、虚騒動。生頸、還俗、自由出家。俄大名、迷者、安堵、恩賞、虚軍。本領ハナル、訴訟人。文書入タル細葛。追従、讒人、禅律僧。

B a スル成出者。

一、ランサイモクノコト、アルイワチトウノキヤウシヤウ、アルイワチカフトマウシ、カクノコトクノ人フヲ、チトウノカタエセメツカワレ候ヘハ、ヲマヒマ候ワス候。ソノ、コリ、ワツカニモレノコリテ候人フヲ、サイモクノヤマイタシエ、イテタテ候エハ、テウマウノアトノムキマケト候テ、ワイモトシ候イヌ。ヲレラカコノムキマカヌモノナラハ、メコトモヲライコメ、ミ、ヲキリ、ハナヲソキ、カミヲキリテ、アマナシテ、ナワホタシヲウチテ、サエナマント候ウテ、セメセンカウセラレ候アイタ、ランサイモクイヨク、ヲソナワリ候イヌ。

C 裁断せられむことを請ふ、当国の守藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の b 并せて濫行横法三十一箇条の □□ 一、……例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加徴せる正税四十三万千二百四十八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事。

(原漢文)

(1) A, B, Cそれぞれの文章が書かれている史料名を下記のア~カから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|---------------|-------------|
| ア 貧窮問答歌 | イ 二条河原落書 |
| ウ 紀伊国阿氏河莊民の訴状 | エ 柳生の徳政碑文 |
| オ 田畑永代売買の禁令 | カ 尾張国郡司百姓等解 |

(2) 史料Aの空欄 a にあてはまるものを下記のア~オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|------|-------|------|
| ア 奉公 | イ 下克上 | ウ 逃亡 |
| エ 逃散 | オ 帯刀 | |

(3) 史料Cの空欄 にあてはまるものを下記のア～オから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 上げ米 イ 年貢 ウ 兵糧米
エ 地租 オ 官物

(4) A, B, Cの史料を時代の古い順に並べるとどのような順になるか。下記のア～カから適切なものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア A — B — Cの順 イ A — C — Bの順
ウ B — A — Cの順 エ B — C — Aの順
オ C — A — Bの順 カ C — B — Aの順

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

江戸時代は、庶民が楽しむ大衆娯楽が文化として花開いた時代である。営利事業としての出版に関しては、17世紀半ばから急増し、元禄時代に盛んになった。
(a)
 出版業の発達には、生産—流通—消費の3つがバランスよく発展しなければならない。生産には、おもしろく楽しめる作品を制作する優れた作家とそれを大量に印刷できる技術と資本力を持った版元が必要である。流通は、手軽に入手できる立地と豊富な品揃えを持った販売店である。最後の消費には、購入が可能なレベルの所得と楽しむための読解力と余暇時間がそなわっている消費者がいなければならない。

生産の側面からは、元禄時代において の 『好色一代男』が人気を博し、大流行した。彼は最初、松尾芭蕉と並ぶ に学び で注目を集め、やがて小説に転じた。現実の世相や風俗を背景に、人々の愛欲や金銭に執着しながら、みずからの才覚で生き抜く姿を描き文学に新しい世界を開いた。他に代表的な作品として、町人物である , 武家物である がある。人気作家のベストセラーが拍車をかけ、元禄末期には大手版元である八文字屋八左衛門の出版した本が全盛期を迎えた。1692(元禄5)年に全国で刊行された書物の点数は7200点、元禄時代に流通した部数は1000万部をこえていた。

また、元禄時代以降、小説を楽しむのは大人だけではなく、絵を主体とする小説が とよばれ、『桃太郎』などの子供向きのものは赤本といわれた。その後、大人向きのものは となり、数冊以上たばねた長編ものは とよばれた。

田沼時代には の といった有力版元が、大量の書物を出版(b)し、小説に止まらず役者絵で有名な の絵なども刊行した。

18世紀後半には江戸の遊里を題材とした洒落本の代表的作家とされる の が人気を呼んだが、幕府は庶民の風俗の乱れを懸念し、将軍 の孫である の の改革で庶民の風俗を乱すものと考えられる書物の出版が禁止された。(c)しかし、作家や版元は、幕府の統制を

うまくかいくぐり、新たに庶民の軽妙な会話を中心にした を生み出した。珍妙な旅行記を描いた の , 江戸庶民の風俗を巧みに描き大成功をおさめた の などが代表作である。

また, と呼ばれた ・因果応報の思想を核にした歴史的伝奇小説も同時に人気を呼んで, の は, 106冊に及ぶ大長編となった。

ただ, 書物の値段はそれほど安くなく, 『好色一代男』で現代の価格に換算すると約5000円もした。そこで, 流通の側面から庶民が手軽に本を読むための専門の店が普及した。料金は と呼ばれ, 安価であったため, 1808(文化5)年には大坂に約 軒, 江戸に約 軒もあったとされる。このように に江戸時代の商人の知恵によって本の価格の高さを克服して, 流通が発展したのである。

また, 江戸時代の庶民には, 消費者としての条件がそなわっていた。とりわけ, 識字率が高いため, 小説のような文章を娯楽として楽しむ能力が発達していた。なぜなら, での教育の普及による 三つの組み合わせで呼ばれる主要な実用的な能力が, 庶民に育成されていた。このことが, 明治維新以降の近代国家を急速に成立させる基盤となったのである。江戸時代を通じて発展した大衆娯楽産業としての出版業は, 単なる娯楽提供に止まらず, 様々なビジネスの基盤となる生産—流通—消費の仕組みが, 確立されていたといえよう。

日本史

問1 文中の空欄 ～ にあてはまる人物名を下記の a ～ x から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| a 水野忠邦 | b 鶴屋南北 | c 東洲斎写楽 |
| d 近松門左衛門 | e 葛屋重三郎 | f 徳川吉宗 |
| g 竹田出雲 | h 十返舎一九 | i 竹本義太夫 |
| j 西山宗因 | k 山東京伝 | l 葛飾北斎 |
| m 松平定信 | n 新井白石 | o 河竹黙阿弥 |
| p 井原西鶴 | q 喜多川歌麿 | r 滝沢馬琴 |
| s 三井高利 | t 淀屋辰五郎 | u 鈴木牧之 |
| v 辰松八部兵衛 | w 徳川綱吉 | x 式亭三馬 |

問2 文中の空欄 ～ にあてはまる作品名を下記の a ～ o から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|-------------|
| a 『曾根崎心中』 | b 『南総里見八犬伝』 |
| c 『奥の細道』 | d 『東海道中膝栗毛』 |
| e 『竹取物語』 | f 『浮世風呂』 |
| g 『義経千本桜』 | h 『仮名手本忠臣蔵』 |
| i 『国姓爺合戦』 | j 『雨月物語』 |
| k 『日本永代蔵』 | l 『春色梅児誉美』 |
| m 『仕懸文庫』 | n 『心中天網島』 |
| o 『武道伝来記』 | |

問3 文中の空欄 ～ にあてはまる本の種類を下記の a ～ l から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| a 写本 | b 人情本 | c 読本 | d 世話物 |
| e 草双紙 | f 滑稽本 | g 浮世草子 | h 黄表紙 |
| i 花月草紙 | j 合巻 | k 青本 | l 黒本 |

問4 文中の空欄 (1) ～ (6) にあてはまる語句を下記の a～p から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| a 寛政 | b 寺子屋 | c 藩校 | d 諸行無常 |
| e 見料 | f 勸善懲惡 | g 天保 | h 不撓不屈 |
| i 木戸銭 | j 正風俳諧 | k 談林俳諧 | l 学問所 |
| m 耕書堂 | n 店賃 | o 享保 | p 養賢堂 |

問5 下線部(a)の時期に町人文芸の中心地域はどこか、あてはまる地名の組み合わせを下記の a～f から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| a 京都 大坂 | b 京都 江戸 | c 大坂 江戸 |
| d 大坂 名古屋 | e 名古屋 江戸 | f 京都 名古屋 |

問6 下線部(b)の幕府の政策について正しく説明しているものを下記の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 権力の強化を目指し、商品経済の統制、緊縮財政と綱紀肅正を図った。
- b 商業資本の積極的活用を図り、貿易振興、専売制拡大を図った。
- c 都市商業資本の統制、儉約、新田開発、増税によって財政再建を図った。
- d 本百姓維持の農村政策を進め、商業資本を抑圧した。

問7 下線部(c)以外に同じ改革で実施された政策を下記の a～d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 聖堂付学問所で朱子学以外を教授することを禁止した。
- b 江戸で500軒あった寄席を15カ所に制限した。
- c 江戸の劇場を市中から場末に移した。
- d 過去の幕府の法令や処罰の先例を調べて、裁判の基準を作成した。

日本史

問8 下線部(d)を指すものとして正しいものを下記のa～eから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 書物屋 b 書林 c 地本屋
d 書物問屋 e 貸本屋

問9 下線部(e)の空欄 , の数字の組み合わせについて正しいものを下記のa～eから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 100 250 b 250 100 c 300 650
d 650 300 e 300 300

問10 下線部(f)について二つは「読み・書き」であるが、三つめの能力が何かを下記のa～eから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 絵を美しく描くこと b 規律正しく労働すること
c 幕府の法令を順守すること d 伝統・習慣を熟知すること
e 計算を正しく行うこと

〔Ⅲ〕 次のA, B, Cを読み, 下記の問いに答えよ。

A 富国強兵をめざす明治政府は, 1871(明治4)年に文部省を新設し, 1872(明治5)年に の学校制度にならった学制を公布した。しかし, 当時の国民生活の現実とかけ離れていたため, 1879(明治12)年に学制は廃されて 教育令が公布された。翌1880(明治13)年の改正教育令を経て, 1886(明治19)年にいわゆる 学校令が公布され, 義務教育が制度化された。この後, 1890(明治23)年に , 1903(明治36)年に が定められ教育に対する国家の統制が強化された。

問1 下線部(a)の年になされた事象として誤っているものを下記のア～エから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 東京にはじめて女学校ができた。
- イ 大教宣布の詔が発せられた。
- ウ 新橋・横浜間に鉄道が敷設された。
- エ 太陰太陽暦を廃して太陽暦が採用され, 1日が24時間になった。

問2 空欄 ・ に入るもっとも適切な語句と文章の組合せを, 下記のア～エから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|---|--------------------------------|------|--------------------------------|----------------|
| ア | <input type="text" value="1"/> | フランス | <input type="text" value="2"/> | 町村を小学校の設置単位とした |
| イ | <input type="text" value="1"/> | アメリカ | <input type="text" value="2"/> | 全国を8大学区に分けるとした |
| ウ | <input type="text" value="1"/> | ドイツ | <input type="text" value="2"/> | 功利主義的な教育観の |
| エ | <input type="text" value="1"/> | イギリス | <input type="text" value="2"/> | 自由主義的な教育観の |

日本史

問3 下線部(b)の説明として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 森有礼文部大臣のもとで公布された。
- イ 帝国大学令，小学校令，中学校令，師範学校令の総称である。
- ウ 元田永孚，井上毅らが原案を起草した。
- エ 国家主義的な理想にもとづいている。

問4 下線部(c)の義務教育についてもっとも適切な内容を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1879(明治12)年の教育令で就学義務の強化がなされた。
- イ 1880(明治13)年の改正教育令で義務教育期間の授業料が廃止された。
- ウ 1886(明治19)年における義務教育の就学率は男女平均で70%である。
- エ 1907(明治40)年に義務教育は6年間となった。

問5 空欄 ・ に入るもっとも適切な語句の組合せを、下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|---|--------------------------------|----------|--------------------------------|----------|
| ア | <input type="text" value="3"/> | 教育に関する勅語 | <input type="text" value="4"/> | 国定教科書 |
| イ | <input type="text" value="3"/> | 戊申詔書 | <input type="text" value="4"/> | 教育に関する勅語 |
| ウ | <input type="text" value="3"/> | 国定教科書 | <input type="text" value="4"/> | 御真影拝礼 |
| エ | <input type="text" value="3"/> | 教育に関する勅語 | <input type="text" value="4"/> | 御真影拝礼 |

B 維新直後は戯作文学や政治小説が書かれたが、1885(明治18)年に坪内逍遙が西洋の文芸理論をもとに評論『小説神髓』を發表し、人間の内面や世相を客観的に描く写実主義を提唱した。日清戦争前後には、感情・個性の躍動を重んじるロマン主義文学が小説や詩歌の分野でもさかんとなった。日露戦争の前後では、人間社会の現実の姿をありのまま写し出そうとする自然主義文学が隆盛する。この後、小説『カインの末裔』の作者の らの や芥川龍之介・菊池寛らの などが活躍し、横光利一や川端康成の がこれに続いた。

大正の末から昭和の初めにかけては、社会主義運動・労働運動の高まりにとともに、労働者の生活に根ざしたプロレタリア文学運動がおり、 の『太陽のない街』などが發表された。

問6 下線部(d)の説明として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 江戸時代から続く大衆文芸である。
- イ 東海散士の『佳人之奇遇』がある。
- ウ 勸善懲悪主義である。
- エ 文明開化の世相を描いた『安愚楽鍋』がある。

問7 下線部(e)にあてはまる作家や出版物の説明として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 坪内逍遙の提唱を文学作品に結実させたのが二葉亭四迷の『浮雲』である。
- イ 幸田露伴は1891(明治24)年に小説『五重塔』を發表した。
- ウ 尾崎紅葉らは回覧雑誌『我楽多文庫』を發刊し文芸作品の大衆化を進めた。
- エ 山田美妙は1888(明治21)年に『夏木立』を發表した。

日本史

問8 下線部(f)にあてはまる作者と作品の組合せとして正しいものを以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア (作者) 森鷗外 (作品) 若菜集
- イ (作者) 樋口一葉 (作品) みだれ髪
- ウ (作者) 与謝野晶子 (作品) にごりえ
- エ (作者) 泉鏡花 (作品) 高野聖

問9 下線部(g)にあてはまる作者と作品の組合せとして正しいものを以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア (作者) 国木田独歩 (作品) 田舎教師
- イ (作者) 田山花袋 (作品) 牛肉と馬鈴薯
- ウ (作者) 徳田秋声 (作品) あらくれ
- エ (作者) 石川啄木 (作品) 微

問10 空欄 ～ にもっとも適した語句を下記のア～ソから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 新派 イ 啓蒙主義 ウ 耽美派
- エ 合理主義派 オ 白樺派 カ 新思潮派
- キ 新感覚派 ク 武者小路実篤 ケ 志賀直哉
- コ 有島武郎 サ 小林多喜二 シ 石川啄木
- ス 長塚節 セ 徳永直 ソ 鈴木三重吉

C 第一次世界大戦は日本経済に空前の好況をもたらし、いわゆる成金を多数生み出す一方で、物価の高騰に苦しむ多数の民衆の存在や寄生地主^(h)のもとで農村の困窮など社会問題を顕在化させた。1916(大正5)年に吉野作造が を提唱し、いわゆる大正デモクラシーは理論的根拠を得た。1918(大正7)年の米価急騰から民衆が米穀商・富商・地主・精米会社を襲撃する米騒動が全国的に広がったことなどから、ときの元老たちが政党内閣を認め、 の総裁原敬が首相となり普通選挙制の導入への期待が高まったが、選挙権の納税資格の引き下げや小選挙区制を導入するにとどまった。

この時期の婦人参政権運動は、平塚らいてうと市川房江らが1920(大正9)年に設立した により進められた。 により組織された友愛会は、1921(大正10)年に日本労働総同盟となり労資協調主義から次第に階級闘争主義に転換し、第一次世界大戦後の不況下の労働運動を指導した。1924(大正13)年には清浦奎吾内閣に反対して第二次護憲運動がおき、清浦内閣が総辞職した後、加藤高明による 3党の連立内閣である護憲三派内閣が組織され、1925(大正14)年にいわゆる普通選挙法⁽ⁱ⁾が成立した。普通選挙法成立後に労働組合などを基盤とする社会主義勢力は議会を通じての社会改造をめざすようになり、1926(大正15)年には合法的な無産政党である が組織された。

問11 下線部(h)の説明として誤っているものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 地主は自作農として支配階級の地位を得た。
- イ 小作料は現物納であり、地租は定額金納である。
- ウ 小作料を資本に起業や投資を行い、しだいに資本主義との結びつきを深めていった。
- エ 米価の上昇は小作料による資本蓄積と地主への土地の集積を進めた。

日本史

問12 本文中の にもっとも適した語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 人本主義 イ 人民主義 ウ 民本主義 エ 民主主義

問13 本文中の にもっとも適した語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 憲政会 イ 黎明会 ウ 日本労農党 エ 立憲政友会

問14 本文中の にもっとも適した語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 赤瀾会 イ 新婦人協会 ウ 青鞥社 エ 春陽会

問15 本文中の にもっとも適した語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 西光万吉 イ 鈴木文治 ウ 杉山元治郎 エ 森戸辰男

問16 本文中の にもっとも適した語句を下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 労働組合期成会 イ 農民労働党
ウ 労働農民党 エ 日本共産党

問17 下線部(i)を構成した3党の組合せとして適切なものを下記のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 憲政会・立憲政友会・革新倶楽部
イ 立憲民政党・政友本党・革新倶楽部
ウ 立憲政友会・社会民衆党・憲政会
エ 立憲政友会・社会民衆党・政友本党